

在宅医療・介護連携の取り組みを問う

質問者 下 野 義 子

「新たな地域医療構想等に関する検討会」では、全国での外来患者数は２０２５年にピークを迎え、在宅患者数は２０４０年以降にピークを迎えるの見込んでいる。市町村介護保険事業計画の作成に関する事項では、地域の医師会等の協力を得つつ、在宅医療・介護連携を計画的かつ効果的に推進することを求めている。ＩＣＴの活用や西多摩医師会の在宅医療安心サポート事業の活用など、町の在宅医療・介護連携の取り組みについて問う。